



社協だより

【発行】社会福祉法人 四国中央市社会福祉協議会

〒799-0404 四国中央市三島宮川4丁目6番55号

本 所：TEL 0896-28-6127 FAX 0896-24-8009

川之江支所：TEL 0896-28-6237 FAX 0896-56-5447

土居支所：TEL 0896-28-6351 FAX 0896-74-1435

新宮支所：TEL 0896-72-2774 FAX 0896-72-2774

E-mail: syakyo@sikochu.jp

社協だよりは、皆さまからお寄せいただいた社協会費と共同募金の配分を受け作成されています。



ホームページ



Facebook®



Instagram®



6月号のトピックス

- ◆「福祉のまちづくり事業助成金」の公募
- ◆令和6年度事業計画・予算
- ◆地域福祉講演会のお知らせ
- ◆福祉用具リサイクル情報
- ◆ボランティア市民活動センターからのお知らせ
- ◆令和6年能登半島地震に伴う職員派遣のご報告
- ◆令和6年能登半島地震災害義援金のご報告
- ◆まごころ銀行のご報告



募集

「福祉のまちづくり事業助成金」の公募について 赤い羽根共同募金配分金助成事業

社会福祉協議会では、福祉のまちづくりのため市内で高齢者や障がい者、子育てに関して実施する支援活動や自発的・組織的に実施する社会貢献活動などを行っている団体・グループに助成金の公募を行います。

助成の対象となる団体

助成金の交付対象となる団体は、以下の条件を満たす団体とします。

- ・市内に活動拠点を有し、福祉の増進を目的とした団体
- ・継続的に活動しており発展が見込まれる又は今後活動する計画のある団体
- ・営利を目的としていない団体
- ・特定の企業、政党、宗教団体等から独立している団体

助成の対象となる事業

- ・団体の特性を生かした創造的・先駆的事业で、市民を対象としたものであること
- ・市民のニーズを的確に捉えたものであること
- ・ボランティア活動の資質向上のための研修会等事業
- ・イベント等の交流会事業

○助成金額 1 団体6万円を限度とします。

○募集期間 令和6年6月3日（月）～6月28日（金）

○決定通知 事業内容等の審議後、助成金額を決定し、申請者宛に通知します。

○応募方法 所定の申請書に関係書類を添えて、下記まで申し込んでください。

※申請書は本所・各支所に置いてあります。また、ホームページからダウンロードすることができます。

【申込・問合せ】 地域福祉課 電話28-6127



令和5年度に 助成を行った団体の 活動写真



ディア・フレンズ



四国中央
笑いヨガボランティア



シトラスみんなの応援隊



シトラスリボン from
四国中央市



川之江ワン&オンリーの会

**基本方針**

近年、少子高齢化や人口減少の進行、家族機能の低下、地域社会の脆弱化、コロナ禍などにより、社会環境は大きく変化し、生活困窮者の増加や社会的孤立の深刻化、障がい者等の権利擁護、ヤングケアラーなどに関する新たな地域生活課題が顕在化しています。

これらの複合化・複雑化した地域生活課題を解決し、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができるための連携・協働の場づくり（プラットフォームづくり）や重層的なセーフティーネット機能の構築など、地域共生社会の実現に向けた取り組みとして、地域福祉の施策化が進められており、その動きの中で社会福祉協議会に対しては、地域福祉の推進主体として役割を果たすことが期待されています。

このように地域社会や社会福祉協議会を取り巻く状況が変化する中、本会では「ともに支え合い ともに生きる 地域づくり」を基本理念とする「第4次四国中央市地域福祉活動計画」に基づき、本事業計画に沿った具体的な取り組みを市民、地区社協、民生児童委員、行政、関係機関・団体等と協働して進めていきます。

また、3年目を迎える第4次地域福祉活動計画の中間評価を行うとともに、新たに「中期経営計画（発展・強化計画）」を策定し、本会が目指す方向性や具体的な取り組みを示していきます。

基本理念**ともに支え合い ともに生きる 地域づくり****基本目標・重点方針など****1. 住民主体の地域福祉活動をすすめ、たすけあいの風土をつくります**

- (1)地区社協活動の充実〔20 地区社協活動、メニュー事業〕
- (2)小地域ネットワーク活動の推進〔見守り推進員、ファミリーサポートセンター、住民互助型生活支援サービス〕
- (3)福祉関係団体等への支援〔民生児童委員活動、共同募金運動、福祉機器等貸出事業、福祉用具リサイクル事業、移動支援の検討〕
- (4)健康と生きがいづくりの推進〔ふれあい・いきいきサロン、常設型サロン、介護予防教室〕

2. 住民の福祉意識を啓発し、ボランティア市民活動を推進します

- (1)ボランティアの育成・活動支援〔ボランティア活動、福祉教育〕
- (2)災害ボランティア活動支援体制の充実〔平常時のネットワークの構築、災害ボランティアセンターの設置・運営〕

3. 住民の権利を擁護し、総合的な相談支援を通じ地域づくりを進めます

- (1)地域福祉権利擁護事業の推進〔福祉サービス利用援助事業、成年後見サポートセンター〕
- (2)地域総合相談・援助活動の実施〔生活福祉資金貸付事業、生活困窮者自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業、生活支援体制整備事業〕
- (3)調査・企画・広報活動の推進〔福祉票整備、広報啓発活動、社会福祉大会・福祉フェスティバル〕

4. 生活の質を高め安心を支える在宅福祉サービスを推進します

- (1)訪問介護サービスの推進〔訪問介護・訪問型サービス、障害者居宅介護等事業、移動支援事業、訪問入浴・介護予防訪問入浴介護事業、有償サービス、育児等支援ヘルパー派遣事業など〕
- (2)通所介護サービスの推進〔地域密着型通所介護事業・通所型サービス、いこいの湯〕
- (3)相談支援サービスの推進〔居宅介護・介護予防支援事業・介護予防ケアマネジメント、要介護認定訪問調査、指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業など〕
- (4)地域生活支援サービスの推進〔地域活動支援センター、就労継続支援B型事業〕
- (5)住まいの場の確保〔生活支援ハウス〕
- (6)福祉介護等研修事業の実施〔介護の入門的研修の実施検討、在宅連絡調整会〕

5. 地域福祉の中核として社会福祉協議会の基盤を強化します

- (1)組織体制の充実・強化〔福祉活動の拠点確保、理事会・監事会・評議員会・専門委員会等、事務局体制の整備、役職員研修、公益的な取り組み、法人連携、事業継続計画（BCP）の運用〕
- (2)福祉財源の確保〔社協会費、まごころ銀行、補助金・委託金、共同募金配分金、収益事業の研究・開発〕

情報

令和 6 年度予算書（概要）

（単位：円）

収 入	
勘定科目	予算額
会費収入	23,500,000
寄附金収入	1,800,000
経常経費補助金収入	99,749,000
受託金収入	96,118,000
事業収入	4,244,000
負担金収入	1,350,000
介護保険事業収入	104,360,000
就労支援事業収入	3,600,000
障害福祉サービス等事業収入	66,420,000
受取利息配当金収入	33,000
その他の収入	214,000
前期末支払資金残高	197,399,000
収入計	598,787,000

（単位：円）

支 出	
勘定科目	予算額
人件費支出	298,940,000
事業費支出	37,939,000
事務費支出	18,905,000
就労支援事業支出	3,600,000
共同募金配分金事業費	6,380,000
助成金支出	20,927,000
その他の活動による支出	11,804,000
予備費	800,000
当期末支払資金残高	199,492,000
支出計	598,787,000

お知らせ

地域福祉講演会

『支え合いと健康づくり』

～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～

高齢化社会が進む中、地域で支え合い、健康的な生活をおくることがますます重要になっています。

この講演会では、地域福祉の重要性や支え合いの仕組みについて考え、支え合い活動が健康づくりにもつながることを、皆さんで共有します。ご参加をお待ちしております。

日 時 令和6年 **6月29日（土）** 13時30分～15時00分

場 所 四国中央市福祉会館4階多目的ホール（定員150名）

申し込み 四国中央市社会福祉協議会 地域福祉課

申込方法 電話、申込書を持参・FAX、QRコードでお申込みください。

※申込書は本所・各支所に置いてあります。また、ホームページからダウンロードすることもできます。

【問合せ】 地域福祉課 電話 28-6127 FAX 24-8009

入 場 無 料



聖力タリナ大学
人間健康福祉学部
社会福祉学科
雑賀 正彦 氏



情報

福祉用具リサイクル情報

（5月13日現在）

※最新の情報はホームページ「福祉用具リサイクル情報」をご覧ください。

【申込・問合せ】

総務企画課
電話 28-6127



この事業は、現在使用されていない福祉用具の活用と地域住民相互のふれあいを促進し、地域福祉の向上を図ることを目的に実施しております。ご家庭で不要な介護機器がありましたら社会福祉協議会までご連絡ください。
※主な機器としては**車椅子（できれば軽いもの）**、**ベッド**、**歩行器等**です。

ゆずります

自走式車椅子	2台
電動車椅子	1台
ポータブルトイレ	3台
シャワーキャリー（入浴用車椅子）	1台
手押しシルバーカー	1台
立位台（小児用ブロンボード）	1台
電動ベッド	1台
シャワーチェア	1台
車椅子用電動昇降機	1台

ゆずってください

介助式車椅子（アーム跳ね上げタイプ）	3台
子供用車椅子	1台
歩行器（天板付）	1台
杖（高さ調節機能付き）	1本
手押しシルバーカー	2台
シャワーチェア（子供用）	1台

情報

ボランティア市民活動センターからのお知らせ

＊初心者向け手話教室受講生募集 手話ってな～に？

聞こえない人たちの言語の手話について勉強しませんか。
一人でも、お友だちと一緒に、親子での参加でも大歓迎です。



【講師】手話サークルつくし
【日時】7月19日～8月23日
毎週金曜日／全6回 19:00～20:30
【場所】市役所市民交流棟2階会議室
【受講料】無料
【定員】15名程度
【対象者】学生参加可（ただし学生は保護者送迎）

【講師】手話サークルてまり
【日時】7月30日～8月27日
毎週火曜日／全5回 19:30～21:00
【場所】土居福祉センター 多目的室
【受講料】無料
【定員】20名程度
【対象者】小学生以上（ただし学生は保護者送迎）

【申込・問合せ】 四国中央市ボランティア市民活動センター 電話 28-6039 FAX 28-6160

報告

令和6年能登半島地震に伴う社協職員派遣のご報告

本年1月1日に能登半島地震が発生したことを受けて、被災した地域の社会福祉協議会が住民の生活再建に向けて災害ボランティアセンターを設置・運営しています。しかし、被害が大きく現地の社協職員だけでは対応が困難であるため、石川県社会福祉協議会から全国社会福祉協議会に各災害ボランティアセンターへの運営支援を要請しました。全国社会福祉協議会から各都道府県社会福祉協議会を通じて職員派遣の依頼があり、当社協からも愛媛県・市町社会福祉協議会における災害時支援協定に基づき、被災地に職員を派遣しました。

【職員からの報告】

4月13日から19日にかけて、石川県の志賀町社会福祉協議会が運営している災害ボランティアセンターで活動しました。地震発生から3か月以上が経過していましたが、訪問した地域では崩れたままの家屋や道路、後片付けをしている住民の方々の姿が見られました。

活動内容は、被災地の方々の住宅に訪問して家屋の被害状況や希望する支援の内容を調査し、それらの情報をまとめる役割を担いました。まとめた情報は、活動するボランティアの人数や、活動内容を判断するために活用していただきました。また、訪問した際には被災された方々のお話をよく聞かせていただき、不安を和らげることに努めました。



報告

令和6年能登半島地震災害義援金 (3月1日～4月30日分)

皆様のあたたかいご支援、誠にありがとうございます。
能登半島地震における災害義援金へのご寄付、心より感謝申し上げます。お預かりした義援金は、中央共同募金会を通じて被災県の配分委員会に送金され、全額が被災者支援に充てられます。

これからも被災地の方々と共に歩み、支え合っているよう、引き続きのご支援をお願い申し上げます。

◎四国中央市社協 本所親睦会 様 49,220円
◎川滝地区社会福祉協議会 様 4,360円
◎上町自治会 様 31,594円
◎本所・支所設置の募金箱 17,440円

報告

＊まごころ銀行報告＊

(3月1日～4月30日分)
ご寄付ありがとうございました。

土居地区老人クラブ連合会 理事一同 様	19,224円
山田井千歳会 様	解散にあたっての残金 金一封
寺内老人会 様	解散にあたっての残金 金一封
三名サロン 様	サロン閉鎖による残金 金一封
S37.S38 妻小同窓会 様	S37.S38 妻小同窓会費余剰金 17,415円
岡アサ子 様	故 岡丈平様 生前の御礼 金一封

皆さまからいただいたこれらの善意は、福祉活動の向上に活用させていただきます。



感謝、そして未来へ

次回の社協だよりの発行は8月号の予定です。

